令和２年１０月号

西中 学校たより

教育目標

情熱・挑戦・思いやり

ホームページ： kanuma-school.ed.jp/j-nisi/

＜生徒の活躍の姿をご覧ください＞

校長室より　～ To be continued（トゥ　ビ　コンティニュード）　～

１０月２１，２２日の２日間、文化祭を開催しました。コロナ禍にあり、例年行ってきた文化祭では中途半端に終わってしまうのではないか、やるからには思いっきりやらせたい、という漠然とした見通しから学校会場の文化祭に切り替えました。しかし、何をやるかは生徒の発想力と意気込み次第です。生徒会を中心に話し合っていくうちに、何かモニュメントを創りたい、有志による発表を行いたい、ブースを作りイベントをやってみたい・・・と発想が広がり、生徒会担当の先生から「内容が盛りだくさんになりました。２日間できないでしょうか。」と提案されました。ゼロベースの企画ばかりで不安はありましたが、だからこそやってみる価値はあると思いOKしました。できるだけ分散し、発表やブースを全員に見られるようタイムスケジュールが作成されました。そして、生徒が集中しすぎないよう参観券「Go To チケット」が発行されました。また、当日の状況を随時知らせるアナウンスを行うなど“一大プロジェクト”となりました。運営に徹してくれた生徒会役員さんには感謝の言葉しかありません。天候にも恵まれ、フィナーレも校庭で実施することができ、２日間に渡る文化祭が幕を閉じ『The end』となりました。

今回挑戦してきたことは、先行き不透明な現代を生き抜く力となり、生徒一人一人の成長につながったと思っています。これも生徒会スローガン『越 -想像を越えた創造-』という灯火があったからでしょう。まだまだ西中の歴史はこれからです。そして、生徒たちの人生もこれからです。『The end（終わり）』ではなく『To be continued（続く）』といきましょう！

アンブレラスカイ
生徒昇降口に展示してあります。

手形アート
職員玄関に展示してあります。

生徒会役員の皆さん
ご苦労様

生徒会役員選挙

９月３０日（水）朝、生徒会役員選挙の投票が行われました。これまでは、３年生が中心となって生徒会を牽引してきましたが、いよいよ１・２年生へバトンタッチです。全校生が一堂に会することはできないので、事前に撮った立候補者の演説を、前日の２９日（火）に学年ごとに時間帯を別にして見るという形で、立会演説会の変わりとしました。

投票は、市から借りてきた実際の選挙で使われる記載台と投票箱を使いました。厳かな雰囲気の中、皆、真剣に投票していました。

翌日には、２年生５名、１年生２名から成る７名の新しい生徒会役員が誕生しました。

3年生学年運動会

９月３０日（水）３年生の運動会代替行事を行いました。１・２年生からは約２週間遅れての実施となりましたが、その分充実した活動になったようにも見えました。校庭ではドッチボール、新世代では卓球、体育館ではバドミントンとバレーボールを行い、最後は学年全員のリレーで、さらに盛り上がりました。

晴天の下、あちらこちらに笑顔が溢れていて、みんな小学生に戻ったようでした。何人かの３年生に聞いてみると「皆で思いきり体を動かすって、やっぱりいいです。」というような声がたくさんありました。是非、来年は全校で運動会ができることを願っています。

令和２年度文化祭　～越-想像を越えた創造～

例年は、鹿沼市民文化センターの大ホールで行っていましたが、今年度は、新型コロナウィルス感染症拡大に配慮して、西中の校舎、体育館及び校庭を使って行いました。

朝の放送でのオープニングセレモニーで始まり、体育館では合唱部の発表、有志によるダンスや歌、コントなどや職員のバンド演奏を２交代制で行いました。新世代２Ｆでは、管弦楽部が工夫を凝らして、色々な形で演奏をしました。新世代１Ｆでは、西中学校クイズ王決定戦と称して、勝ち進み選ばれた代表者による、１日目予選、２日目決勝と熱い戦いが繰り広げられました。図書室では、図書委員会主催によるミニビブリオバトルが開かれました。

各教室では、全校生徒がスポーツ・筋トレ、アニメ、癒やしなど、自分の興味や関心の高い分野に分かれ、それぞれのブースで、掲示物を展示したり、体験活動を催したりしました。

２日目の午後は校庭で、未成年の主張、応援歌の２番披露、フィナーレと進み、２日間の文化祭が幕を閉じました。

例年と同じような文化祭はできませんでしたが、生徒たちが考え創造した、ある意味想像を越えた『自分たちの文化祭』ができたのではないでしょうか。